

第20回千葉市 U-10 千葉北ロータリークラブカップ

競技方法および、競技規則について

1. はじめに

本大会は、千葉市バスケットボール協会ミニバスケットボール専門部が主催する大会である。

A) 大会名称

「千葉市 U-10 千葉北ロータリークラブカップ」とする。

B) 大会目的

魅力的なスポーツ環境の提供と、健全な普及発展を目指し、低・中学年のミニバスケットボール・プレイヤーに可能な限り多くのゲームに参加させる機会を与え、子供たちにミニバスケットボールの楽しさを十分に味わわせ、より多くの選手を育成することを狙いとする。

2. 競技方法

A) 試合形式

- ① リーグ戦方式で行う
- ② 試合時間:1 クォーター5分、2 クォーターの前後半で行う
- ③ メディカルタイムアウト適用。各クォーター2分30秒が経過しボールがデッドになったら審判が30秒間のタイムアウトをコール
※通常のタイムアウトはなしとするが、各会場の時間に余裕があればタイムアウトが取れるルールとしてもよい。(朝の打ち合わせで決定する)
- ④ メンバー交替は前後半とも随時出来る(通常試合の第4Q 方式)
※各試合とも登録選手全員が出場出来るよう調整する
- ⑤ 同点時の勝敗について
同点のままとする。フリースローによる勝敗決定は行わない。
順位決定のときのみ、代表者5人でフリースローを行う
- ⑥ 同率の勝敗について (一位決定のみ行う)
(ア) 両チーム選手5名によるフリースローにより勝敗を決定する
(イ) 更に同点の場合は、フリースローを行った両チームの選手により V ゴール方式でのフリースローで勝敗を決定する

B) 競技規則

JBAバスケットボール競技規則ミニバスケットボールの適用規則に準拠するが、低学年の運動能力を考慮し、一部規則についてローカルルールを設定する。

- ① 競技時間
ゲームはハーフ・タイム2分をはさんだ前半・後半各5分ハーフ
- ② フリースローについて
ボールがリングまで届かない場合は、フリースローサークルを利用し、最大限リングに近い所からシュートを可能とする
- ③ 同点と延長
同点のままとする。延長およびフリースローによる勝敗決定は行わない
- ④ 規則違反と罰則
(ア) ヴァイオレーション
24 秒ルールは、適用しない

(イ)タイムアウトはなしとする(メディカルタイムアウト適用)

3. フリースロー競技

A) 試合形式

- ① 1ブロック毎に実施する
- ② 競技の参加者は、大会参加選手全員を対象とする
- ③ 予選と決勝戦を行う
- ④ 予選
 - (ア) 1ブロック参加選手を2グループに分けて競技を開始する
 - (イ) 2カ所で、それぞれ、1回戦、2回戦、3回戦を行う
但し、10名以下になった時点で決勝戦を行う
 - (ウ) 1回戦
1人3回投げて、1本でもゴールしたら予選2回戦へ進出
 - (エ) 2回戦
1人2回投げて、1本でもゴールしたら予選3回戦へ進出
 - (オ) 3回戦
1人1回投げて、ゴールした選手が決勝進出となる
- ⑤ 決勝戦(1カ所で行う)
 - 1人1回投げて、ゴールした選手が1人になるまで続ける
(5名程度になったら、チーム名と名前をアナウンスする)

B) 競技規則

フリースローについて

ボールがリングまで届かない場合は、フリースローサークルを利用し、最大限リングに近い所からのシュートを可能とする